

平成 19 年 11 月 5 日（月）、告地区生涯学習センターにおいて、「くまがわ・明日の川づくり報告会」が開催されました。

同報告会には、約 20 名の方々にお集まり頂き、球磨川水系河川整備基本方針の内容や小委員会等での審議の状況についてご報告いたしました。

質疑の際には、下記のとおりご意見等をいただきました。

参加者数※

町内	16 名
町外	2 名

※参加者数は記名者数

住民の方々から頂いた主なご意見・ご質問

【球磨川の治水対策について】

- ・ 漆口地区の嵩上げ工事の進捗状況について聞かせて欲しい。具体的に工事はいつ頃から入るのか。
- ・ 洪水時のダムの放流に納得できないところがある。説明して欲しい。（洪水被害に対する）地元への救済策についても聞かせて欲しい。洪水時に規定どおりダムを放流したと言われるが、救済（嵩上げ）を後回しにしておいて、ダムを造って一番危険な時に放流している。ダム建設を先にやるのは順序が逆ではないか。
- ・ 鎌瀬地区も嵩上げしてもらいたい。
- ・ 漆口地区では（治水事業について）地元説明会が 2 回ほどあったが、鎌瀬地区には来てもらえないのか。陳情すればよいのか。それとも、河川管理者が危険だと思えば来てもらえるのか。鎌瀬地区は県道から下は全て浸かっている。
- ・ 大水のときに、荷物を上にあげてもらっていてみんなに迷惑をかけている。（水が）家に上がる 1m ぐらい低い水位の段階で、水を流してもらえないか（水位が上がらないうちに市房ダムの水を流しておいてもらえないか）。
- ・ 球磨川の水位が上がらないうちに、市房ダムは早く放流しておいてもらいたい。
- ・ ダムが出来てからの、異常な被災の状況（特にここ 3 年で 4 回被災）は、自然災害だけと思えない。やはり（ダムによる）洪水調節が出来ていないんじゃないかという不信感が出てきている。川辺川ダムの建設よりも、まず、漆口、鎌瀬地区の改修を急いで欲しい。一勝地の宮園地区は話があってから 4 年間で出来たと聞いている。何年後にできるとか青写真を示して欲しい。
- ・ 市房ダムについて、いつ放流したということを知らせて欲しい。
- ・ 漆川内川流域の住民は、水害・土砂災害で孤立してしまう。アーチ形で、JR を囲むような球泉洞にマッチするような橋を造って欲しい。地区の生命と財産を守り、町の観光にも活性化にもつながるのではないかと思う。
- ・（災害時の情報提供について、）年寄りばかりでインターネットなど誰も見ない。県が漆口橋の下に水位標を設置したが、水位がどこまで行くと危険である、という説明が無かった。設置した時点で説明すべき。

【球磨川の環境について】

- ・ 2～3 年前から川辺川の上流で山が崩れて白い濁りが発生し、長期間濁りが引かない。川辺川の濁水対策について何らかの措置をしたのか。

【その他】

- ・ 河川内の個人の土地が崩れたときは、国は弁償してくれるのか。昨年、役場の方には、写真も含め書類を出しているが、一年以上経っても何も言って来ない。

※ ご発言をそのまま掲載するのではなく、趣旨を変えない程度にまとめさせて頂いています。

※ ご質問への回答については、アンケートで寄せられたご質問への回答と合わせて、後日 HP に掲載させていただきます。

